

令和4(2022)年度 住まいとコミュニティづくり活動助成 活動中間報告

団体名

シモキタ園藝部

活動のテーマ

下北線路街の「植育」を通じた地域の風景作りとコミュニティの醸成

9月までに達成できた事項(箇条書き)

- ・ 1.5m×6mの雑草や落ち葉を腐葉土にするコンポストとその倉庫を制作(4～7月)
- ・ 定期的なコンポスト切り返しの実施
- ・ コンポストの切り返しを体験してもらう一般の方向けのワークショップの開催(8月)

今後の活動予定と令和5年3月末時点の達成予定事項

- ・ 外部講師を呼んで、循環に関するレクチャーの開催
- ・ 植栽管理で発生した剪定枝や落ち葉等を活用し、地域の園芸店などと連携したワークショップの開催(リース作り・アロマ水の蒸留)
- ・ 土をつかうワークショップ、土に触れるワークショップの開催

中間報告

2022年10月5日

シモキタ園藝部

・活動のテーマ

私たちの活動テーマは、『下北線路街の「植育」を通じた地域の風景づくりとコミュニティの醸成』です。「下北線路街」は、小田急線「東北沢駅」～「世田谷代田駅」の地下化に伴い、全長約1.7kmの線路跡地を開発して生まれる新しい“街”です。シモキタ園藝部は、その街路の植物を守り育てていくことを目的として2020年に発足しました。緑と人、人と人が関わり合って暮らしていくために、緑のお手入れや植物の営みを活かしたイベントなどを行っています。

・助成対象活動に至った理由や背景

今回助成していただく活動の中心になっているのが、**コンポスト事業**です。私たちが新しく管理をすることとなった野原の中に、植栽管理で大量に出てくる葉や枝、剪定枝などを堆肥として生まれ変わらせ循環させるコンポストを作る際の材料費や製作・切り返しにかかる人件費、循環をテーマにしたイベントの開催費用などに当てさせていただいています。通常の植栽管理の委託費の中には、これらの費用は含まれるものではないので、今回助成活動として応募させていただきました。

・9月までの活動の進捗状況



コンポスト小屋製作(4月～7月)



切り返しを体験する外部向けWS開催(7月)



完成したコンポスト小屋(9月)



剪定枝や落ち葉等を活用したWSの開催(7月)

・今後の活動予定

植栽管理で継続して出る剪定枝葉を分解するため、**コンポスト運用**を継続していきます。また、外部講師をお呼びし循環について学ぶ**レクチャーの開催**、植栽管理で発生した剪定枝や落ち葉等を活用し、地域の園芸店などと連携した、リース作りなどの**ワークショップ**も開催していく予定です。